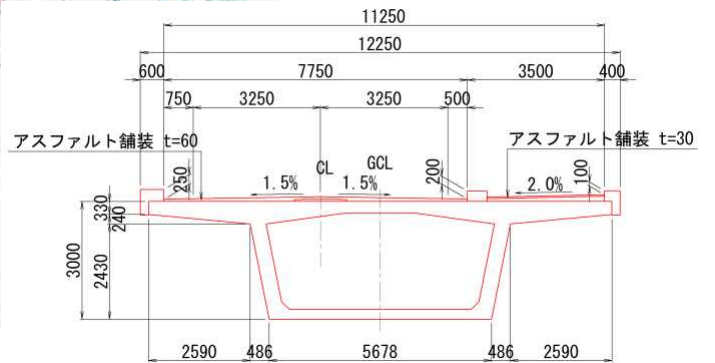


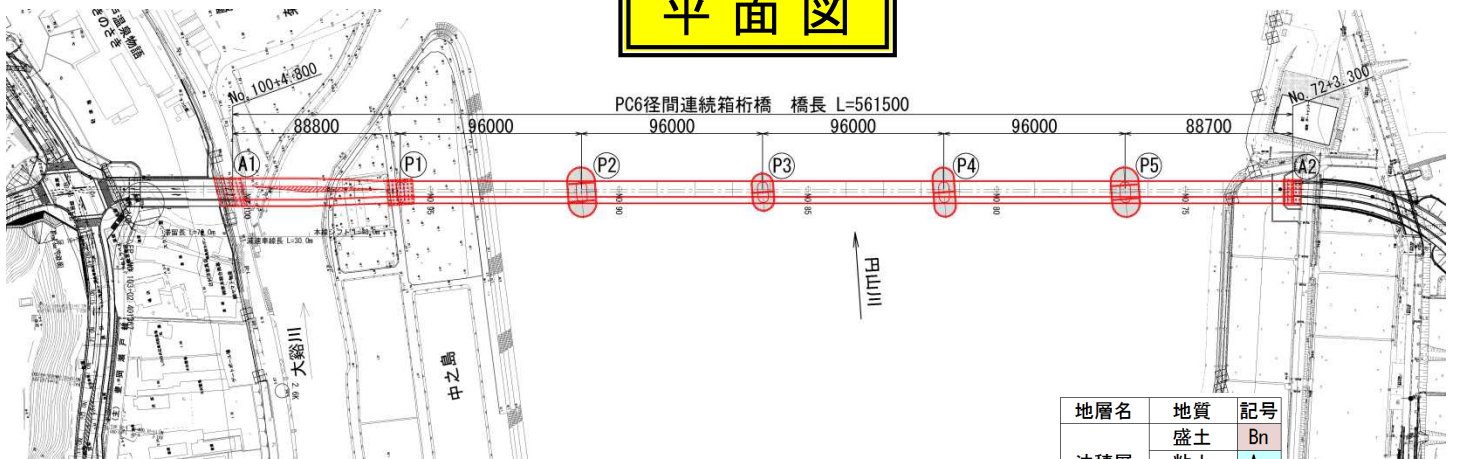
位置図



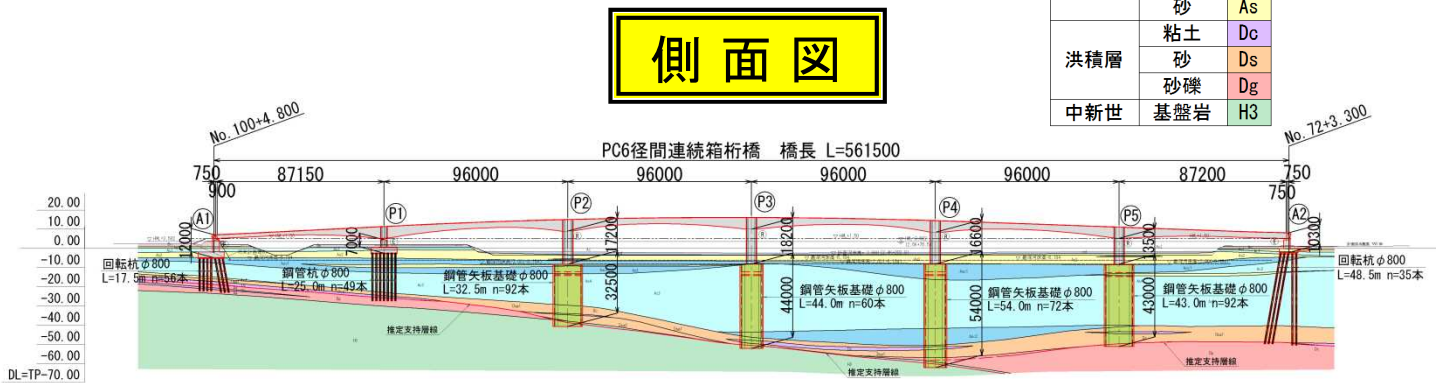
標準断面図



平面図



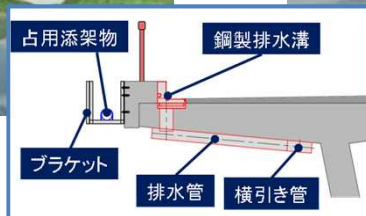
側面図



完成予想パース



- ・桁高にリズムカルな変化を持たせ、城崎温泉への新たなゲートウェイに相応しいシンボリックなデザインを採用。
- ・橋脚(P2～P5)と橋桁を一体化させる構造(ラーメン構造)を採用するとともに、橋桁の断面を台形(斜めウェブ)とすることによりコスト縮減を図る。



・路面排水が直接河川に流入しないよう、右図の排水装置で橋梁の端部まで導水し、油分等の不純物を除去した上で川へ排水する。

・占用添架物はブラケットにより隠し、排水管・横引き管も左図のように配置位置を工夫し、付属物が目立たない構造とする。



・高欄、防護柵は軽量で耐防食性の高いアルミ素材とし、景観に配慮し茶色の製品を採用する。

・歩行者および自転車が安全で快適に利用できるよう、自転車歩行者道(幅員3.5m)を設置する。

・道路照明は、魚貝類等への影響に配慮し、橋梁部以外へ光が漏れない構造とし、色は暖かみのある電球色(橙色)とする。